

浮島・青木・江上校区の

文化財マップ



久留米市

■浮島・青木・江上校区の文化財■

城島は古代「筑紫瀧」と呼ばれた有明海の中で、筑後川の沖積作用によって形成された広大な干潟の湿原に人々が移り住み、度重なる洪水や高潮によって流出・埋没を繰り返してきたといわれています。これを物語るように、入江を連想させる「江上」や、海岸や川岸に育つ柳・檜・松などの若木の繁茂しているところを意味する「青木」の地名があります。弥生時代の遺跡の多くは、江上・青木地区に確認されており、海岸沿いに集落が存在していたことが窺えます。代表的な遺跡として、青木天満宮東側にある「上青木北大門遺跡」があります。この遺跡から南に伸びて、下青木の「下青木遺跡」や「能保里貝塚」、江上の「筒江遺跡」などへとつながっています。

城島町内には古墳などの存在は確認されていませんが、「山ノ下遺跡」は、堀端や水田に巨石が数個散在しているといわれており、古墳が近くにあった可能性があります。付近では須恵器や土師器、直刀や唐銭などが出土したといわれています。

平安時代中頃に編纂された『和名抄』の中の筑後国に記載された三潆郡に「管綜郷」という郷名があります。現在の「江上」一帯を示すといわれていますが、「綜」が機織の道具の名前であることから、一帯に機織を使用する織女集団が居住していたのではないかとする説もあります。技術を持つ人々が、有明海を渡って来たのでしょうか。

律令制度が崩壊し荘園制が始まると、一帯は「三潆庄」と「青木庄」に含まれます。青木庄は安楽寺(太宰府天満宮)領になります。安楽寺は海外貿易を行っていて、記録には残っていませんが、青木庄も有明海沿岸に着岸する宗船と私的に貿易を行っていたかもしれません。

戦国時代には諸豪族は肥前龍造寺氏や豊後大友氏の傘下に入り従っていました。城島町内には城島城・江上城・下田城が築られました。字名に「屋敷」と名の付くものも多くみえ、まだ確認されていない屋敷の発見が期待されています。

関ヶ原の戦い後、九州の西軍討伐でおこった鍋島・立花両軍の戦いは、筑後では「江上表の戦い」・「八院合戦」とよばれています。激戦が展開されると伝えられており、この時の多数の戦死者・負傷者を埋葬したと伝えられている「江上上経塚跡」や江上本にある「揚田地蔵」(ほ場整備で移築)など、関連する史跡が残されています。

江戸時代、田中吉政は積極的に新田の開発を行いました。筑後川流域の大規模開発の一つに浮島の葭野開きがあります。菊池十左衛門(のち惣右衛門)によって開拓され、当初は「有喜島」と名付けられました。有馬氏の時代に「浮島」の村名を頂いています。浮島の開拓に関する資料などは菊池家に大切に保管されています。

■こんなにあるぞ!! 浮島・青木・江上校区の文化財■

No.	遺跡の名前	遺跡の時代	こんな遺跡です
1	浮島 <small>うつくしま</small> ・巖島神社の石造狛犬	江戸時代	楼門 <small>ろうもん</small> に肥前狛犬 <small>ひぜんごまいぬ</small> が安置されています。境内 <small>けいだい</small> は他に板碑 <small>いたひ</small> などもあります。
2	菊池家文書	近 世	寛文9年 <small>かんぶん</small> （1669）から慶応2年 <small>けいおう</small> （1866）までの、浮島の開発に関する文書などが伝えられています。
3	江島・坂本神社の石碑	江戸時代	境内 <small>さるたひこせきひ</small> に猿田彦石碑 <small>だいにんぐうせきひ</small> 、大神宮石碑があります。
4	青木島神社・「江頭さん」	江戸時代	青木島神社の境内にある石造物で、地元では「江頭さん」と呼ばれ親しまれている、弁財天の石造です。
5	四郎丸・坂本神社板碑群	江戸時代	神社境内 <small>けいだい</small> に4基の板碑があります。
6	四郎丸遺跡	中 世	土師器 <small>とうじき</small> ・陶磁器などが散布しています。
7	苔梅 <small>たいばい</small> 廃寺 <small>はいじ</small> 跡	安土・桃山時代	上青木老松宮司累代 <small>かみあおきおいまつぐうじるいたい</small> の墓所があり、経石などが多数埋まっていたといわれています。
8	上青木北大門遺跡	弥生時代	弥生土器や須恵器などの他、木製品や種実、獣骨などの自然遺物が多数出土しました。
9	宮開宝篋印塔 <small>みやのひらきほうさよういんとう</small>	南北朝時代	上青木の天満宮境内 <small>けいだい</small> にその一部があります。上青木老松宮司累代の墓から移動したものとされています。
10	宮開遺跡	弥 生 ～	弥生土器などが多数散布しています。
11	下青木遺跡	弥生時代	弥生土器が多数散布しています。集落跡も残っています。
12	能保里貝塚 <small>かきがら</small>	弥生時代	弥生土器・牡蠣殻 <small>かきがら</small> が多数散布しています。
13	法林寺遺跡	弥生・中世	弥生土器・陶磁器などが散布しています。
14	能保里遺跡	弥生時代	弥生土器・黒曜石片などが散布しています。
16	江上上経塚跡	江戸時代	江上・八院合戦の決戦場跡で、両軍の戦死者を吊る為 <small>ほほきょう</small> に法華経を埋めたといわれています。
17	原中牟田遺跡 A	中 世	土師器などが散布しています。
18	原中牟田遺跡 B	中 世	土師器などが散布しています。

19	伝・江上三郎墓所	中世	祠に石造物が安置されています。
20	西江上城跡	中世	弟・江上三郎忠種の城館跡といわれています。
21	東江上城跡	室町時代	城跡の面積は4畝21歩。兄・江上四郎種冬の城館跡といわれています。
22	馬場遺跡	弥生時代	弥生土器などが散布しています。
23	北ノ屋敷遺跡	中世～ 江戸末	戦国末から江戸初期の堀に囲まれた屋敷跡や井戸、掘立柱建物などが確認されています。
24	揚田地蔵	江戸時代	江上・八院合戦の戦死者を弔うために建立されました。ほ場整備により移動しています。
25	筒江遺跡	弥生時代	弥生土器・土師器などが散布しています。貝塚があったともいわれています。
26	山ノ下遺跡	弥生～	弥生土器などが多数散布しています。
28	平野板碑	中世～	板碑2基、一石五輪塔1基が集積されています。
29	くほんじあと 九品寺跡	室町時代	ぶにゅうえいげん 豊饒永源により創建され、寺田が寄進されました。後に田中吉政により寺田は没収されましたが、九品寺は門徒により守られました。

■貴重な指定文化財たち■

No.	遺跡の名前	遺跡の時代	こんな文化財です
15	ほうりんじほうきょういんとう 法林寺宝篋印塔 (県指定)	有形文化財 (昭和52年 4月9日指定)	もとは、下林天満宮境内にありましたが、明治の神仏分離に際してこの地に移されたようです。記録は無く、製作時期は不明ですが、全体の形状から室町期の建立と考えられます。
27	うしきじんじゃ 牛木神社の石造 六地藏塔 (市指定)	有形民俗文 化財(平成 9年10月1 日指定)	寄進・紀年銘などは不詳ですが、天正年間(1573～1590)の製作と推定され、全体的に中世期末に見られる特徴を備えています。

■浮島・青木・江上校区の歴史年表■

時代	西暦	浮島・青木・江上校区のできごと	日本のできごと
旧石器	20000	八女丘陵で打製石器が使用される	狩り・漁労・採集等で生活する
	縄文	10000	筑後川流域に沖積平野が形成される
弥生		紀元前	
	紀元後	上青木北大門遺跡に集落が営まれる	倭国大乱
	200	能保里貝塚周辺に集落が営まれる	卑弥呼が邪馬台国を治める
古墳	300		古墳がつくられ始める
	500		筑紫君磐井の乱(527) 仏教伝来(538)
飛鳥		下青木付近に古墳が造られる	
	600		群集墳が盛んに造られる 乙巳の変(645) 白村江の戦いで大敗北(663)
奈良	700	筑紫大地震で筒江が埋まったと伝えられる	筑紫大地震(679) 筑後国府がつくられる
平安	1100	三瀧荘に江上の名がみえる	平安京に都を移す(710) 筑後国分寺がつくられる 平安京に都を移す(794)
鎌倉	1300		鎌倉幕府の成立(1192)
室町	1400		室町幕府の成立(1336) 応仁の乱(1467)
安土桃山	1600	江上南上に西法山九品寺を創建する	豊臣秀吉の天下統一
江戸	1800	江上・八院一帯で激戦 菊池左衛門、筑後川中州を開拓	江戸幕府の成立(1603)
明治以降	1900		明治維新(1868)
	2000	平成の大合併により久留米市と合併	平成の大合併(2005)

浮島・青木・江上校区文化財イラストマップ

おすすめスポット 浮島・青木・江上校区

- ・法林寺宝篋印塔
- ・牛木神社石造六地藏塔
- ・巖島神社
- ・坂本神社
- ・平野板碑
- ・九品寺跡
- ・東江上城



浮島・青木・江上校区の文化財マップ

千代田町



① 巖島神社の石造狛犬

楼門の中にそれぞれ鎮座しています。鋤掘型の肥前狛犬です。2段に歯を刻んだものと、上下の唇のみを表したものに掘り分け雌雄を分けているようです。



⑧ 上青木北大門遺跡

弥生時代から中世にかけて遺構を確認しました。出土遺物の中にはシカの角を加工したものが発見されたほか、多数の弥生土器が出土しました。



⑭ 能保里遺跡の石棺蓋

出土の詳細は不明ですが、周辺に弥生時代の集落が広がっていたことを物語る貴重な資料です。その他、周辺からは牡蠣殻や弥生土器、石器片などが多く散布しています。



⑳ 牛木神社の石造六地藏塔

石材は安山岩と思われます。龕部には六体の地藏菩薩を六面に巡らせています。数基の地藏は永い年月により頭部が失われしまいました。



㉑ 牛木神社

久留米市埋蔵文化財センターのご案内



市内の遺跡から出土した土器や石器・金属器などの遺物をはじめ、発掘調査や整理作業の際に作成した図面・写真などの記録類を収蔵・整理・研究するための施設です。

当センターでは、資料の貸し出しや閲覧、文化財に関するご相談にも応じています。また、毎年秋には「考古資料展」を開催し、収蔵資料の公開を行っています。

ふるさとの歴史に関心をお持ちの皆さん、ぜひお越しください。お待ちしております。

開館時間：午前9時～午後5時

休館日：土日・祝祭日・年末年始

入館料：無料



《文化財に関するお問い合わせ先》

久留米市市民文化部 文化財保護課

久留米市城南町 15-3 (市役所 12 階)

☎0942-30-9225 FAX 0942-30-9714

E-mail : bunkazai@city.kurume.fukuoka.jp

久留米市埋蔵文化財センター

久留米市諏訪野町1830-6(え〜るピア敷地内)

☎0942-34-4995 FAX.0942-34-5045

浮島 青木・江上校区

の文化財マップ

平成23年3月31日

発行：久留米市

編集：文化観光部文化財保護課

〈表紙〉法林寺宝篋印塔(県指定)